



◆第一薬品工業株式会社はどんな会社ですか？

家庭薬、配置薬、健康食品等の製造を通じて、予防医学やセルフメディケーションのニーズに対応し、医療費の削減や地域の人々の健康維持に貢献する会社です。創業70周年、富山薬業の伝統を受け継ぎながらも、最新の設備とシステムを導入し、大手製薬会社との共同で、新製品の研究開発も手掛けています。



代表取締役社長 寺田 敦 様

◆生産管理システム導入の目的は何でしたか？

当初の目的は、旧オフコンシステムの老朽化と、基幹業務の統合化です。平成24年4月施行の「コンピュータ化システム適正管理ガイドライン」(新ガイドライン)に適応させる必然性が発生し、これも結果的に大きな目的の一つになりました。

◆なぜ、ASTROM (JIPROS-Medical) を選ばれたのですか？

選定には、導入プロジェクトチームを編成し、相当の議論を重ね、多くのパッケージを比較検討しました。当社には、当社の強みである、配置薬などの伝統的な取引形態を維持するという特殊な事情がありました。さらに共同物流センターの利用、会計システムとの連携など、我々固有の機能追加にも対応していただく必要がありました。どんなパッケージを導入しても、標準機能だけでは対応が難しい、だからこそ我々の独特なニーズにも対応できる柔軟性を持ったパッケージが必要だったのです。そこで浮上したのがJIPROS-Medicalでした。医薬品製造業に必要な機能を装備し、最も柔軟性があるパッケージとして、選定させて頂きました。



システム管理グループ長 平野 裕士 様

◆どんな効果がありましたか？

量産品の通常業務では、かなりの事務処理の省力化に成功しています。多品種少量品では物の動きと情報が連動することで「見える化」が進み、他部署の状況もわかるようになり、人・物・金の管理がスムーズになりました。基幹業務の統合化で決算スピードも格段に改善されています。

また、実際原価の数値の「見える化」の効果も見逃せません。今まで見えなかった原価数値が見えるようになり、コスト削減のポイントがつかめるようになりました。

さらに、蓄積されたデータを必要な人が引き出し、各部門によるデータ活用が浸透し、結果的に紙の消費量が大幅に削減するという効果もありましたね。



配置向け商品

◆システムの移行はスムーズでしたか？

いいえ、正直言って結構大変でしたね。多品種少量でかつ、配置薬の独特な商習慣、これを整理統合したマスターの作成には苦労しましたが、結果的にマスター整備の良い機会になりました。

移行時の混乱ははじめから織り込み済みでした。古い体質、属人的な業務を一新し、役割も責任も大きく変化するわけですから、トラブルなくすんなり移行できるはずがありません。ここでは安定稼働まで、しっかり支援してくれるベンダーさんの存在は不可欠でした。休日や夜間にも、素早く調査してくれるプロスさんの存在は、本当に心強かったです。

◆課題はありますか？

今回のステップで、幹は完成できたと思っています。次のステップでは、枝葉の部分の改善が課題となっています。具体的にはミス防止や、作業性改善などです。また、今回ステップの対象外としていた、品質管理部の業務との連携や、製造実行システムの充実も今後の課題ですね。

◆第一薬品工業様の今後の展望をお聞かせください

これからも、配置薬で培った人のつながり、良き歴史と伝統を大切に考え、それを強みとして技術力を磨き、社会に貢献できる商品を開発し、提供していきます。また設備とシステムの両面で、さらに充実を図り、受託製造も拡大していきたいと考えています。そのためにも、生産管理システムの有効活用は重要な成功要因になるはずですので、社内での運用検討会を開催し、さらに進化させていきたいと思っています。

◆生産管理システムの導入を検討されている医薬品製造業者の方にアドバイスをお願いします

生産管理システムの導入は、多くの部門に関連し、全社に渡る情報の流れと、業務を見直す作業でもあります。これは、会社全体を見渡し、業務を組み立てられる人材を育成するには絶好の機会です。そうした視点でプロジェクトチームを編成されることをお勧めします。



ドリンク剤



第一薬品工業様では、生産管理システム「ASTROM」を、市販の財務/会計システムおよび委託倉庫システムと、データ連携しています。

株式会社 プロス **PROS.**

Tel.053-413-5656 Fax.053-413-5666

〒430-7712 静岡県浜松市中区板屋町111-2 浜松アクタワー12階